

2023年度 環境経営レポート

(対象期間： 2023 年 8 月 1 日 ～ 2024 年 7 月 31 日)



株式会社 宮本組

作成日： 2024年10月25日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

ごあいさつ

株式会社宮本組は、昭和44年、兵庫県三田市に個人事業として創業以来、多くのお客様のご支援を賜りながら建設業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。

当社が、人と環境のよりよい調和を目指す企業としてエコアクション21への取り組みを開始し5年が経過しました。引き続き全従業員に周知徹底し、環境保全の重要性を認識し、環境負荷低減のため継続的改善に取り組んでまいります。

環境経営方針

環境経営理念

当社は、建設業の事業活動において、常に自然環境に与える影響を強く認識し、環境保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した工事に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2019年8月1日

改定日：2022年12月13日

代表取締役

宮本 光久

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 宮本組

代表取締役 宮本 光久

(2) 所在地

本 社 兵庫県三田市東山 1 0 7 2 番地

資材置場 兵庫県三田市東山 2 4 8 番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 宮本 光久 TEL : 0 7 9 - 5 6 8 - 1 2 3 9

(4) 事業内容

土木工事業、舗装工事業、造園工事業、建築工事業、管工事業、水道施設工事業、電気工事業

(5) 事業の規模

売上高 100,880 万円 (2023年度 税抜)

	本 社	資材置場	合 計
従業員 名	7 名	0 名	7 名
延べ床面積 m ²	77 m ²	864 m ²	941 m ²

車種	台数
2 t ダンプカー	1 台
3 t ダンプカー	1 台
4 t ダンプカー	1 台
軽車両	3 台
ショベル系掘削機 (12 t)	1 台
ショベル系掘削機 (7.8 t)	1 台
ショベル系掘削機 (3.5 t)	4 台
ショベル系掘削機 (0.8 t)	1 台
ブルドーザ (7.0 t)	1 台
ブルドーザ (3.5 t)	1 台
合計	15 台

(6) 事業年度 8 月 1 日 ~ 7 月 31 日

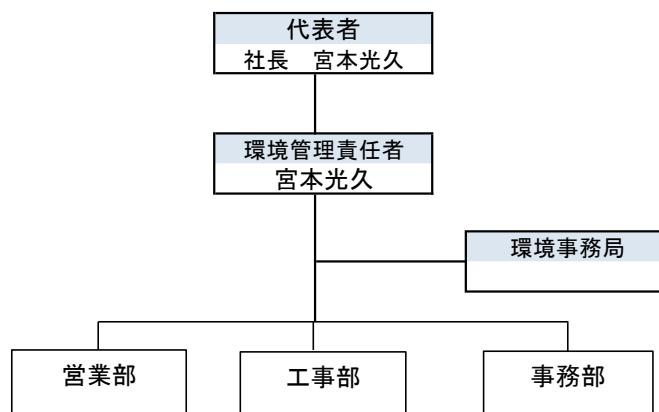
認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 宮本組
 対象事業所：本 社
 資材置場

対 象 外：なし

活 動：土木工事業、舗装工事業、造園工事業、建築工事業、管工事業、水道施設工事業

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許可の内容

建設業許可の内容

許可番号	兵庫県知事 許可（一般-30）第 302408 号		
許可の有効期限	令和 5年11月15日 から 令和10年11月14日		
建設業の種類	土木工事業	建築工事業	
	とび・土工工事業	管工事業	
	舗装工事業	造園工事業	
	水道施設工事業	電気工事業	

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	16,689	20,710	22,031
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	47	45	45
産業廃棄物排出量	トン	39.8	44.1	18.6
総排水量	m ³	43	43	42
二酸化炭素排出係数	引用年(関西電力)	2017年	2017年	2020年
	kg-CO ₂ /kWh	0.418	0.418	0.351

※負荷の実績は工事現場を含む

※二酸化炭素総排出量には灯油、L P Gによる排出量を含む

環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成率	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,861	1,842	2,282	×	1,842	1,823
	基準年度比	2020年	99%	123%	81%	99%	98%
ガソリンによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	7,858	7,779	11,193	×	7,779	7,701
	基準年度比	2020年	99%	142%	70%	99%	98%
軽油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,761	3,723	7,748	×	3,723	3,686
	基準年度比	2020年	99%	206%	48%	99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	13,479	13,345	21,222	63%	13,345	13,210
一般廃棄物の削減	kg	48	48	45	○	47	47
	基準年度比	2020年	99%	94%	106%	98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上 ※1、3	%	91%	92%	100%	○	92%	92%
水道水の削減	m ³	44	43	42	○	43	42
	基準年度比	2020年	98%	99%	103%	97%	96%
環境に配慮した工事の推進	行動目標（詳細は後述）						

※化学物質（PRTR物質）は使用していない

※1 再資源化率＝再資源化量÷産業廃棄物量×100

※2 達成率（削減目標）＝目標÷実績

※3 達成率（向上目標）＝実績÷目標

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
数値目標				×	従業員への節電を呼びかけてはいるが気象状況に応じて電力も必要となるため増加してしまった。 引き続き節電の努力をするが、基準値変更の必要性もありと考え、検討する							
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）				△								
・不要照明の消灯				○								
取組紹介欄  不要照明の消灯を よびかける掲示												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年度	613	496	336	420	493	539	381	424	400	400	335	472
2023年度	852	691	404	473	471	603	637	641	408	328	404	589
										合計	2020年度	5,309
											2023年度	6,501

ガソリンによる二酸化炭素削減				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容											
数値目標				×	今年度も人員増加の影響でガソリンも増加した。今後も継続して空ふかしやアイドリングストップを徹底する。											
・アイドリングストップ				○												
・効率的なルートで移動				○												
・従業員への周知徹底				○												
取組紹介欄																
																
現場へ出発前によく見える場所に「エコドライブ10のすすめ」を掲示				事務所にも掲示												
<ガソリン（L）>																
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月				
2020年度	368	225	227	271	309	330	325	310	215	307	165	335				
2023年度	478	302	398	453	356	295	491	568	324	447	349	363				
										合計	2020年度	3,387				
											2023年度	4,824				

軽油による二酸化炭素削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
数値目標					×	今年度は道路修繕工事等、重機での掘削作業等が多く軽油の使用量が増加してしまったが、今後も継続して空ふかしやアイドリングストップを徹底する。							
・アイドリングストップ					○								
・効率的なルートで移動					○								
・従業員への周知徹底					○								
<軽油（L）>													
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2020年度	132	47	405	68	49	102	104	78	79	110	52	231	
2023年度	149	269	314	237	79	160	288	355	302	265	262	323	
										合計	2020年度	1,458	
											2023年度	3,003	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別を徹底し、資源ゴミは地域の廃品回収で再資源化 裏紙の利用は概ねできている。 今後も引き続き努力する。
・ 分別の徹底	○	
・ リサイクルの促進	○	
・ 裏紙の利用	△	

取組紹介欄



裏紙の利用をよびかける掲示



裏紙使用時もミスがないように
注意を呼びかけます

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年度	4	4	5	2	5	4	4	5	5	5	4	3
2023年度	3	3	4	4	7	3	2	4	3	4	3	5
合計											2020年度	50
											2023年度	45

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別を徹底し再資源化に努めた 今後も継続し努力する
・ 分別の徹底	○	
・ 再資源化の推進	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ポスターを掲示し、注意を促した。 節水ゴマの取り付け、ホースノズルの交換等を行った。今後も意識 向上や取組を継続する
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・ 節水ゴマ取り付け	○	

取組紹介欄



節水をよびかける掲示

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年度	4	3	3	3	1	2	6	6	5	5	3	3
2023年度	3	3	2	3	3	3	4	3	4	5	5	4
合計											2020年度	44
											2023年度	42

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 低騒音、低振動型、排ガス対策型機械の使用	○	低騒音、低振動型、排ガス対策型機械を使用し、 作業についても概ねできていたと思われる。 今後も引き続き情報を収集するなどし更なる努力をする。
・ 作業ミスの防止	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	契約書、マニフェストの発行、マニフェスト交付状況報告書	良好
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	〃
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	〃
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等	〃
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	〃
騒音規制法	特定建設作業届、騒音の基準値 85 d B	〃
振動規制法	特定建設作業届、振動の基準値 75 d B	〃
フロン排出抑制法	重機のエアコンの簡易点検	〃

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定 火災の発生	
■実施日： 2024年2月15日	■実施場所 資材置場
■参加者： 全従業員	■実施内容： ・消火訓練、避難訓練
■評価： 消火器の使用方法と設置場所を確認し 緊急事態へ備えることができた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月26日

1ページ目の写真は三田市内の渓谷放流釣り場の写真です。アマゴやニジマスが釣れるそうで魚が生息しやすいよう、また釣りが楽しめるように巨大な石で区画割りをするという工事をさせていただきました。重機でしか動かせないような巨大な石を並べ、区画割りをしていくという作業は見た目以上に大変で約1週間ほどかかり完成させることができました。ところがそのわずか1週間後、台風による大雨の影響で巨大な石が流され、ほぼ全ての区画がなくなってしまい再工事となりました。長年釣り場を営業されていてこのような増水は初めてで再工事となったことも初めてだそうです。また市内各地でも多数の倒木等があり、あらためて自然災害の恐ろしさを痛感させられました。その一方で再工事が完成し釣り場の営業が再開され、大自然の中、釣りやバーベキューを楽しんでいる様子を見させて頂くとやはり豊かな自然の素晴らしさを感じ、環境への取り組みが重要であると感じました。

当社がエコアクション21の取り組みをはじめ、5年が経過しました。今回も環境負荷の結果としては目標達成とはならず、残念な結果となりました。致し方ないところもありますが、まだ何かできることがないか模索し、日々のエコ活動を積み重ね、環境負荷の低減を図っていきけるよう継続的に努力してまいりたいと思います。

2024年 10月 26日
代表取締役 宮本 光久

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり	目標値の変更
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり	
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり	

地域や関係団体の環境活動に参加



地域の廃品回収に出してリサイクル



現場周辺の清掃風景



今年度も市内の防災訓練に参加、
地域の活動にも積極的参加を心掛けています